

## V03a すばる望遠鏡の総合性能と共同利用

安藤裕康、ほかハワイ観測所、すばるプロジェクトチーム

2000年3月で1991年4月からはじまったすばる望遠鏡の建設が終了した。1999年1月のファーストライト以降、望遠鏡の性能は仕様値を上回る優れたものであることが示された。試験調整装置(CISCO、Suprime-Cam, いずれもカセグレン焦点)による初期成果は11編の論文にまとめられ、PASJの第52巻に発表された。

その後第一期観測装置による試験観測がはじまり、望遠鏡の機能向上、性能の高いレベルでの安定性を主課題として望遠鏡の調整が続けられてきた。ここでは共同利用を12月にひかえ、現時点での性能をとりまとめ周辺光学系の状況も含めて報告する。

また、1999年12月より、第一期観測装置がCOMICSをかわきりにCIAO、IRCS、FOCAS、Suprime-Cam、OHS、HDSと順次ファーストライトを経験して試験観測に入った。望遠鏡の各焦点と装置の組み合わせ試験が一渡り終了し、望遠鏡の微調整、観測装置の再調整、改善等が進んでいる。観測装置の状況についても報告する。

2000年12月に開始する共同利用では、来年3月まで36夜を共同利用に供し、この間IRCSとSuprime-Camを公開することとした。本報告では共同利用に向けた望遠鏡や観測装置の性能を中心に述べるが、その他の調整試験についても報告する。